

船舶事故調査報告書

平成26年1月9日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 庄 司 邦 昭

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗揚
発生日時	平成25年8月4日（日） 18時40分ごろ
発生場所	長崎県佐世保市枕島南南東方沖の浅瀬 佐世保市所在の九十九島湾大崎防波堤灯台から真方位158°3, 450m付近 (概位 北緯33°08.3′ 東経129°39.4′)
事故調査の経過	平成25年8月5日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ^{カレンツ} CAREN II、5トン未満 282-17517長崎、個人所有 6.56m (Lr) × 2.37m × 1.22m、FRP ガソリン機関（船外機）、110.30kW、平成10年5月
乗組員等に関する情報	船長 男性 49歳 二級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成12年12月1日 免許証交付日 平成23年3月15日 (平成28年3月21日まで有効)
死傷者等	重傷 1人（船長）
損傷	船首船底に破口及び擦過傷（沈没して全損）
事故の経過	本船は、船長が1人で乗り組み、平成25年8月4日18時30分ごろ、佐世保市下 ^{しもふなこし} 船越町の船だまりを発進し、同市勝海町の係船場所に向けて帰途についた。 船長は、背もたれのある操縦席に座って手動操舵を行い、約14～15ノットの対地速力で佐世保市 ^{ふかしろ} 深白島北方沖を西進中、疲れから眠気を催したが、係船場所までは大丈夫だと思って航行を続けた。 本船は、枕島北東方沖から同島東方沖の水路に向けて左転して南南西進中、船長が、同じ姿勢で操船していたところ、居眠りに陥り、18時40分ごろ、船首船底に衝撃を受け、本船は、枕島南南東方沖の浅瀬に乗り揚げた。 船長は、気が動転しており、機関を後進にかけたところ、本船が浅瀬から離れたので、航行を続けていたが、損傷を確認することに思い

	<p>至り、停止して船内の船底部を見て浸水を認め、バケツで海水をくみ出していたが、排水が間に合わず、本船の沈没間際に海に飛び込んだ。</p> <p>船長は、救命胴衣を着用し、夜中に佐世保市俵ヶ浦町北西部の海岸に泳ぎ着いた後、明け方、同海岸南方の海水浴場まで泳ぎ、海水浴場関係者に救助を求め、救急車で病院に搬送され、血気胸、顔面骨折等と診断された。</p>
気象・海象	<p>気象：天気 曇り、風向 西南西、風速 約2m/s、視界 良好</p> <p>海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の末期</p>
その他の事項	<p>船長は、10時30分ごろ係船場所を出航し、下船越町の船だまりで友人3人を乗せ、12時00分ごろから枕島北岸の砂浜でバーベキューを行い、ビール(350ml缶)を1～2本飲んでいた。</p> <p>船長は、昼食後、海岸の散策、遊泳及び釣りを楽しみ、18時00分ごろ枕島を発進し、18時30分ごろ下船越町の船だまりで友人を下船させた後、係船場所への帰途についていた。</p> <p>船長は、枕島を発進した頃から、疲れや眠気を感じていた。</p> <p>船長は、係船場所への帰航中、眠気から意識がもうろうとしながら、操船しており、枕島北東方沖から同島東方沖に向けて左転後の記憶がなかった。</p>
分析 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、枕島北東方沖から同島東方沖の水路に向けて左転して手動操舵で南南西進中、船長が居眠りに陥ったことから、枕島南南東方沖の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬に乗り揚げたものと考えられる。</p> <p>船長は、背もたれのある操縦席に座って操船中、疲れや眠気を感じていたものの、同じ姿勢で操船を続けたことから、居眠りに陥った可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、枕島北東方沖から同島東方沖の水路に向けて左転して手動操舵で南南西進中、船長が居眠りに陥ったため、枕島南南東方沖の浅瀬に向けて航行し、同浅瀬に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疲れや眠気を感じた場合、適切な場所で休息をとり、居眠りを防止すること。